



学校だより
第18号

応其の風

発行：平成27年7月17日
橋本市立応其小学校
橋本市高野口町名古屋 19-1
Tel：0736-42-2067

非行防止教室「キッズサポートスクール」(5年)が行われました。(7月6日)

毎年、子どもたちの社会規範意識の向上を目的に、和歌山県警察本部生活安全部少年課と教育委員会、小・中学校が連携して、非行防止教室「キッズサポートスクール」が行われています。応其小学校でも、5年生を対象に、7月6日に開催しました。

当日、少年課少年サポートセンターから2名の方にお越しいただき、「いじめ」を題材にした「人をきずつける」という次の教材を使って指導いただきました。

場面1

A君は同級生のB君とC君に、なんもしていないのにいじめられています。クラスの他のみんなは、見て見ぬふりをしています。

場面2

A君が家へ帰るとちゅう、B君とC君が自分たちのランドセルをもたせようとしてきました。ランドセルを押しつけられ、たおれたA君はガードレールで頭を打ちました。それを見たB君とC君は、びっくりしてにげていきました。

場面3

A君は通りがかりの人に助けを求め、救急車で病院に運ばれました。連絡を受けたA君のお母さんは、A君から話を聞きました。

場面4

A君のお母さんは、担任の先生と警察に連絡しました。

B君とC君の二人は、家の人と一緒にA君とA君の家の人に泣きながら頭を下げました。

クラスでは、このことについて話し合いました。

この学習は、子どもたちが教室で学ぶだけでなく、学んだことを家に帰って子どもたちが家族と話し、家族からのコメントもいただくところが特徴です。

子どもたちの感想と、保護者からのコメントの一部を紹介させていただきます。

子どもの感想

いじめははんざいにもなることがあるから、見て見ぬふりをしないで、はっきり「あかん」って言わないとダメだなと思いました。ちょっとしたことが大きなことに発展するので、ちょっとしたことから注意しようと思いました。(5年児童)

5年生でもつかまるし、はんざいにもなるので、ちゃんと心のブレーキをかけないといけないと思いました。これからも、やっていい、やったらいけないというけじめをつけて、心のブレーキを気にしていきたいです。(5年児童)

A君は、B君とC君にいじめられていて、A君にけがをさせてしまったから、遊び半分でもいじめはしてはいけないと分かりました。A君は親にちゃんとそのことを言っていじめがなくなったから、ちゃんと親や先生にいじめのことを言うことも大事だと授業を受けて思いました。(5年児童)

保護者のコメント

授業の話を子どもから聞いて、どう思ったかなど、話し合いました。子どももその授業を聞いて、もう一度、友達の大切さ、人の命の大切さ、それからその大切なものを守りたい、助けたいと思う気持ちが強くなったみたいでした。今日のような授業に私たちも参加できればいいなと思いました。子どもたちだけではなく、みんなで考えていけたらいいですね。(5年保護者)

たくさんの感想やコメントを紹介できれば良いのですが、少ししか紹介できないのが残念です。子どもたちは授業を通し、しっかりとした考え方を持つことができた感想が多かったです。また、保護者の方からは、子どもと真剣に向き合って話し合っていたことが伝わってくるコメントをたくさんいただきました。ありがとうございました。

応其小学校では、毎年子どもたちに「生活アンケート」を実施しています。その中で、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という設問があります。

5、6年生では、100%の子どもが「いけない」と回答しています。(6月実施結果)大変うれしいことです。この回答が心からの気持ちとなるよう、今回の授業のような取組を進めていきたいと考えています。(今田 実)



西校舎の解体工事が始まります

国道の歩道橋から見た西校舎



西校舎のろうか

今年度から三か年計画で応其小学校の大規模改修を行います。今年度は、西校舎の取り壊しを行います。現在西校舎は、耐震性に課題があるため物置として活用し、教育目的での利用はしていませんが、昭和34年に建てられ、図工室や理科室として長年にわたり利用されてきた木造校舎です。保護者や地域の方々にとっても、懐かしくまた、思い入れのある校舎ではないでしょうか。

55年間、多くの応其小学校の児童の成長を見てきた西校舎ですが、7月23日から取り壊し工事に入ります。夏季休業の期間に取り壊しを行い、その後、10月末をめどに駐車場として整備されることとなっています。

なお、来年度、再来年度は、教室棟の大規模改修を行う予定です。教室やトイレがきれいになることで、子どもの学びの環境が向上します。工事期間中は、安全を確保し、事故なく改修を終えられるよう努めますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

応小フェスティバル (7月15日)

応其小学校では、「児童会活動や委員会活動、クラブ活動を活性化し、自主的実践的態度を育成するとともに、子どもたち自身による学校美化や規律ある学校づくりをすすめる」という取組を行っています。この取組の一つとして、子どもたちが企画し、自主運営することで、みんなで楽しめる「応小フェスティバル」を代表委員会が中心となって計画しました。子どもたちは、テーマと目的を次のように決めました。

テーマ: たて割りで 遊びを通して スマイルに

- ・たて割でお店をまわります。
- ・お店をおもいっきり楽しみましょう。
- ・応小フェスティバルで、みんなと仲良くしましょう。

出し物は、「おばけやしき」「ボーリング」「ひよこめいろ」「宝さがし」「キャップすくい」「げき」「『の』の字さがし」「豆つかみ」「魚つり」「新聞やぶり」「一円玉おとし」「しゃてき」です。

4、5、6年生が出し物を用意しました。全校縦割りで、楽しい時間を持つことができました。また、子どもたちの主体的な活動が見られた応小フェスティバルとなりました。自主・自立・規律ある応其小学校を目指して、今後も特別活動の充実を図っていきたいと考えています。

ボーリング →

↓ キャップすくい



第65回「社会を明るくする運動」

今年で65回目となる”社会を明るくする運動”の標語募集がありました。応其小学校は、4年生、5年生、6年生が取り組み、その中から、次の2作品が入選しました。

「がんばれよ その応援で 勇気出る」 4年 河原望二さん

「やめようよ この一言で いじめなし」 4年 上東葉奈さん

標語は、夏季休業中(予定)、高野口地区公民館(上東さんの標語)と産業文化会館(河原さんの標語)に掲示されています。

高野口地区公民館と産業文化会館には、高野口中学校区の小・中学校の児童・生徒作品も掲示されています。子どもたちの作品を通して、子ども同士、大人同士、そして大人と子どもが話し合う機会にさせていただきたいと願っています。

橋本市図書館のぶっき一号(移動図書館)が夏休みにも来てくれます。

8月6日(木) 9:30~10:30(体育館前) 登下校は、交通に気をつけてください。